

企業会計基準委員会の審議状況

(2010年5月～2010年7月)

専門研究員 ^{たかはし}高橋 マコト

平成22年5月から平成22年7月までに、第201回から第206回の計6回の企業会計基準委員会を開催しています。審議事項等は以下のとおりです。それぞれの内容につきましては、企業会計基準委員会ホームページ (<https://www.asb.or.jp/>) で「議事概要」、「議事要旨」(会員限定)及びWebcastを公開しておりますので、そちらをご覧ください。

第201回 企業会計基準委員会 平成22年5月17日(月) 14時05分～15時45分

(審議事項)

- (1) 公開草案 改正実務対応報告「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い」(その1)(案)及び(その2)(案)【公表議決】

都常勤委員及び市原専門研究員より、改正実務対応報告「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い」(その1)(案)及び(その2)(案)についての説明がなされた後、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

- (2) 無形資産に係る検討について

新井副委員長及び市原専門研究員より、無形資産プロジェクトにおいて検討されている会計基準(案)の構成や個別論点について説明がなされ、審議が行われた。

- (3) 金融商品専門委員会における検討状況について

加藤副委員長及び神谷専門研究員より、IASB公開草案「償却原価及び減損」に対するASBJのコメント(案)について検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(報告事項)

- (1) 引当金に係るIASB公開草案へのコメント対応について

資料の配布をもって報告するものとされた。

- (2) IASB共同会議報告

小賀坂主席研究員より、4月27日(火)及び28日(水)に開催されたASBJとIASBによる第11回共同会議の概要の報告が行われた。

- (3) SAC会議(IFRS Advisory Council会議)報告

資料の配布をもって報告するものとされた。

- (4) NSS会議報告

資料の配布をもって報告するものとされた。

(5) IASB 会議報告

資料の配布をもって報告するものとされた。

第 202 回 企業会計基準委員会 平成 22 年 5 月 28 日（金） 14 時 05 分～16 時 40 分

（審議事項）

(1) 金融商品専門委員会における検討状況について①（公正価値測定）

加藤副委員長及び嶋田専門研究員より、公正価値測定及びその開示に関する会計基準案について検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(2) 無形資産に係る検討について

新井副委員長及び市原専門研究員より、無形資産プロジェクトにおいて検討されている会計基準（案）の構成や個別論点について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 金融商品専門委員会における検討状況について②（分類・測定）

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、金融商品会計に関する現行基準の測定区分の見直しにおける、公正価値オプション、保有目的区分の変更、及び複合金融商品の取扱いについて検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(4) 金融商品専門委員会における検討状況について③（IASB 公開草案：減損）

加藤副委員長及び神谷専門研究員より、IASB 公開草案「償却原価及び減損」に対する ASBJ のコメント（案）について検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(5) 企業結合専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び小賀坂主席研究員より、企業結合プロジェクトにおいて検討されている公開草案に向けた、偶発負債及び特定勘定の取扱い等の論点について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(6) 特別目的会社専門委員会における検討状況について

新井副委員長及び小賀坂主席研究員より、SPE の取扱いに関する短期的な対応を行う場合の論点について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(7) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

第 203 回 企業会計基準委員会 平成 22 年 6 月 10 日（木） 13 時 30 分～16 時 40 分

（審議事項）

(1) 中期運営方針の公表について

小賀坂主席研究員より、中期運営方針について説明がなされ、審議後、承認された。

(2) 連結納税に係る公開草案に対するコメント対応について

都常勤委員及び市原専門研究員より、公開草案 改正実務対応報告「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い」（その1）（案）及び（その2）（案）に対して寄せられたコメント及びその対応案について説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該実務対応報告の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(3) 過年度遡及修正に関連する公開草案に対するコメント対応について

新井副委員長及び前田専門研究員より、企業会計基準第24号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正案に対して寄せられたコメント及びその対応案について説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該会計基準等の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(4) 1株当たり当期純利益に係る公開草案に対するコメント対応について

新井副委員長及び小林（央）研究員より、企業会計基準公開草案「1株当たり当期純利益に関する会計基準（案）」、企業会計基準適用指針公開草案「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針（案）」及び実務対応報告公開草案「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い（案）」に対して寄せられたコメント及びその対応案について説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該会計基準等の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(5) 「上場会社の個別財務諸表の取扱い（連結先行の考え方）に関する検討会」での検討状況について

小賀坂主席研究員より、平成22年6月8日の企業会計審議会へ報告を行った「上場会社の個別財務諸表の取扱い（連結先行の考え方）に関する検討会」の概要について説明され、審議が行われた。

(6) 包括利益の表示に関する会計基準（案）について

新井副委員長及び中條専門研究員より、「包括利益の表示に関する会計基準（案）」について検討状況の説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該会計基準及びこれに関連する会計基準等の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(7) 金融商品専門委員会における検討状況について①（公正価値開示）

加藤副委員長及び嶋田専門研究員より、「公正価値測定及びその開示に関する会計基準（案）」について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(8) 金融商品専門委員会における検討状況について②（IASB 公開草案：減損）

加藤副委員長及び神谷専門研究員より、IASBの公開草案「金融商品：償却原価及び減損」に対するコメント（案）について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(9) 専門委員の退任について

新井副委員長より、専門委員の退任について説明がなされ、承認された。

（報告事項）

(1) IASB 会議報告について

資料の配布をもって、報告するものとされた。

第 204 回 企業会計基準委員会 平成 22 年 6 月 24 日 (木) 13 時 30 分～16 時 20 分

(審議事項)

(1) 企業会計基準「包括利益の表示に関する会計基準(案)」等について【公表議決】

新井副委員長及び中條専門研究員より、企業会計基準「包括利益の表示に関する会計基準(案)」等について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(2) 改正企業会計基準第 2 号「1 株当たり当期純利益に関する会計基準(案)」等について【公表議決】

新井副委員長及び小林研究員より、改正企業会計基準第 2 号「1 株当たり当期純利益に関する会計基準(案)」等について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(3) 企業会計基準第 24 号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正について【公表議決】

新井副委員長及び前田専門研究員より、企業会計基準第 24 号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(4) 改正実務対応報告第 5 号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その 1)(案)」等について【公表議決】

都常勤委員及び市原専門研究員より、改正実務対応報告第 5 号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その 1)(案)」等について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(5) 金融商品専門委員会における検討状況について(公正価値開示)

加藤副委員長及び嶋田専門研究員より、公開草案「公正価値測定及びその開示に関する会計基準(案)」について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該公開草案の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(6) 金融商品専門委員会における検討状況について(分類・測定)

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、金融商品の範囲、金融資産の分類及び測定に関する検討状況の整理について説明がなされ、審議が行われた。

(7) 無形資産に係る検討について

新井副委員長及び市原専門研究員より、無形資産プロジェクトにおいて検討されている会計基準(公開草案)の文案について、検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(報告事項)

(1) IASB 報告について

山田 IASB 理事より、6 月 2 日公表の IASB・FASB のジョイント・ステートメントなど、最近の IASB の動きについて、報告が行われた。

第 205 回 企業会計基準委員会 平成 22 年 7 月 6 日 (火) 13 時 30 分～16 時 40 分

(審議事項)

- (1) 企業会計基準公開草案「公正価値測定及びその開示に関する会計基準(案)」及び同適用指針案について【公表議決】

加藤副委員長より、企業会計基準公開草案「公正価値測定及びその開示に関する会計基準(案)」及び同適用指針案について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

- (2) 金融商品専門委員会における検討状況について(分類・測定)

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、金融商品の範囲、金融資産の分類及び測定に関する検討状況の整理について説明がなされ、審議が行われた。

- (3) 特別目的会社専門委員会における検討状況について

新井副委員長及び小賀坂主席研究員より、SPE の取扱いに関する検討について、特別目的会社専門委員会における検討状況の説明がなされ、審議が行われた。その後、「SPE の取扱いについて、資産の譲渡者のみ適用できるものに変更すること」について意思確認が行われた。その結果、賛成 7 名、反対 4 名となり、暫定合意がなされた。

- (4) 退職給付専門委員会における検討について

都常勤委員及び前田専門研究員より、本年 3 月公表の公開草案に寄せられたコメントの概要及び、今後の退職給付プロジェクトの進め方等について説明がなされ、審議が行われた。

- (5) 報告企業に関する IASB 公開草案に対するコメント対応について

西川委員長及び深井専門研究員より、IASB 公開草案「財務報告に関する概念フレームワーク報告企業」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

- (6) 金融商品専門委員会における検討状況について(金融負債)

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、IASB 公開草案「金融負債に関する公正価値オプション」に対するコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

- (7) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

(報告事項)

- (1) IASB 会議報告等

山田 IASB 理事より、6 月 24 日公表のプログレス・レポート等について、報告が行われた。

第 206 回 企業会計基準委員会 平成 22 年 7 月 21 日（水） 13 時 30 分～15 時 40 分

（審議事項）

(1) 金融商品専門委員会における検討状況について（分類・測定）

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、「金融商品会計基準（金融資産の分類及び測定）の見直しに関する検討状況の整理」の文案について説明がなされ、審議が行われた。なお、次回の企業会計基準委員会において当該検討状況の整理の公表議決を行う予定である旨の補足説明がなされた。

(2) 退職給付専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、IASB 公開草案「退職給付制度：IAS 第 19 号の修正提案」へのコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 企業結合専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、本年第 3 四半期の公表（予定）に向けて検討中の公開草案における経過措置の取扱い及び適用時期について、企業結合専門委員会における検討状況の説明がなされ、審議が行われた。

(4) 無形資産に関する検討について

新井副委員長及び市原専門研究員より、本年第 3 四半期の公表（予定）に向けて検討中の公開草案における経過的な取扱い及び研究開発の成果を自社の研究活動に利用する場合の取扱いについて説明がなされ、審議が行われた。

(5) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。